

平成13年度当初予算 基本事務事業目的評価表

[基本事務事業名] (132) 文化的資産の保護継承と活用

[評価年月日] 平成12年12月6日

[主担当部課名] 生涯学習課文化財保護室

[記入課名・課長名・電話] 生涯学習課文化財保護室長 谷本鋭次

1 総合計画の政策体系上の位置づけ

政策：(I-3) 文化・スポーツの振興

施策：(2) 文化的資産の継承と活用

総合計画の目標項目： 県指定文化財の指定件数 490件 (2001年度)

整備活用されている歴史の道の件数 2件 (2001年度)

波及効果・副次的効果を及ぼすと考えられる施策： みえ歴史街道構想の推進

2 基本事務事業を巡る環境変化 (過去、現状、将来)

文化財保護事業はこれまで個々の文化財を保存し継承していこうという姿勢であったが、現在は文化財を面的に捉え、積極的に活用しようという気運が高まりつつある。また、文化財保護法の改正や地方分権により県、市町村の責任による文化財保護・活用が強く求められるようになった。豊かで潤いのある環境づくりは人々の心の糧となるものであり、市町村主体の文化財保護活用事業が充実するとともに、その事業に対し県への支援要望が高まる。

3 基本事務事業の目的と成果

3-(1) 対象と意図 (何をどういう状態にしたいのか)

文化的資産を調査し、貴重なものは指定、適切な保護措置を図るなどして、その永続的な保護を図る。

文化的資産の活用を図ることにより、それらが県民の宝、地域の宝として多くの人々に親しまれ、豊かで潤いのある環境づくりや地域振興に活かされる。

3-(2) 成果指標名・成果指標式 (総合計画の目標項目には*を付す)

文化的資産保護継承・活用度

* = 国・県指定文化財累計×認知度×保護事業件数×イベント等による活用件数

(代替式) = 県指定文化財累計

② 変更した場合の成果指標名・成果指標式

3-(3) 設定した成果指標に関する説明 (指標動向に影響する要因、指標の有用性、設定の理由など)

文化財の指定には基本的に調査が必要であり、県内にどんな文化財がどこにどれだけあるかの悉皆的調査が事前に必要である。また、指定文化財の認知や活用にはその地域の人々の協力が肝要であり、その気運を高めることも重要である。文化財を活用したイベント等は他部局でも実施しており、カウントは不可能であり、県指定文化財数の増加をもってあてた。

3-(4) 結果 (施策における2010年度の目標)

保護、保存されている指定文化財の数	2,500件
国、県指定文化財のうち活用されている文化財数	200件
市町村と連携して整備を図る史跡数	16件

4 基本事務事業の評価

4-(1) 前年度 (H1 1年度) における基本事務事業の結果評価

①前年度に行った内容と成果

- ・地方分権・文化財保護法改正に対応して、三重県文化財保護条例・同施行規則を改正すると共に、市町村との役割分担を検討した。
- ・県指定文化財の指定、市町村等が行う保存修理事業を支援して文化財の保護活用を促進した。
- ・東海道ほかの歴史の道整備活用総合計画策定については 11 年度で完結し、歴史の道活用の方向性を提示した。

②前年度に残った課題

- ・法・条例改正等の趣旨に沿って、市町村と協働する文化財の保護活用体制づくりが必要である。
- ・総合行政の視点から魅力あるまちづくりや地域の活性化に、文化財を活用する方策の検討も課題である。
- ・11 年度から大規模な建造物修理支援に着手したため、継続的な予算確保が必要である。

4-(2) 本年度 (H1 2年度) における基本事務事業の見込み評価

①本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

- ・法・条例改正等の趣旨を市町村に周知し、実効性を高める。
- ・市町村と連携して文化財の調査・指定・管理等を行う。
- ・文化財保存修理等補助事業 34 件を実施し、公開事業への支援を行うことにより、文化財の保護活用を一層促進する。
- ・熊野古道の世界遺産登録にむけて、体制整備や調査・PR等の登録推進事業に着手する。

②本年度残ると思われる課題

- ・市町村や県民と協働して文化財の保護活用を図るために、その方向性を示す必要がある。
- ・保存活用のため、国・県指定文化財の保存修理事業の要望が多くあり、その緊急度・効果を測って実施する。特に、大型の継続事業については、継続的な予算措置を行う。
- ・熊野古道を世界遺産に登録するため、和歌山・奈良県及び関係市町村と連携して、登録推進事業の一層の促進を図る。

5 基本事務事業の改革方向

- ・三重県の歴史風土の基盤を形成する文化財を将来にわたり保護継承し、豊かな県土づくりに活用するための基本指針を策定する。
 - ・基本指針に従って保護活用体制の充実を図り、市町村と協働して文化財の悉皆調査・記録を行うと共に、適切な保護・継承のために指定及び保護事業を推進する。
 - ・文化財を学校教育や生涯学習、魅力ある地域づくりに活かそうという気運が高まりつつあるため、活用・公開事業を積極的に支援する。
 - ・大規模な保存・活用事業については、国の支援を要請すると共に、計画的な予算措置を行う。
 - ・熊野古道の世界遺産登録により、これを永続的に保護すると共に、東紀州活性化・三重のすばらしさの発信を図る。
-

6 成果指標値及びコスト等の推移

	成果指標値		総合計画 目標数値	予算額等 (円)	必要概算 コスト (円)
	目 標	実 績		所要時間 (時間)	
前々年度 (H10年度)	470件	468件		208,953	222,953
				7,581	
前年度 (H11年度)	476件	476件		179,585	216,135
				5,671	
本年度 (H12年度)	484件			145,197	168,959
				5,671	
本年度補正後 (H12年度)				+ (or▲)	+ (or▲)
				+ (or▲)	
翌年度 (H13年度)	490件	-----		210,168	276,654
				15,868	
計画目標年次 (H 年度)	490件	-----	490件	-----	-----

7 翌年度（H13 年度）の基本事務事業における事務事業戦略プランシート（PPM：Project Portfolio Matrix）

<必要概算コスト： ☆5億円以上 ◎～1億円 ◇～5千万 △～1千万 ・1千万未満 ＊休止・廃止>

基本事務事業の成果向上への貢献度合



※ 各事務事業名の右に付した矢印は、それぞれの事務事業に対する力の入れ具合である「注力」の変化の方向を表している。

8 基本事務事業を構成する事務事業の詳細

※ 新規事務事業には、事務事業名に(新)を付す

事務事業名 (担当課)	成果指標名	事務事業の概要	13年度 予算額 (千円)	予算額 前年度比 (±千円)	13年度 所要時間 (時間)	所要時間 前年度比 (±時間)
文化財保護審議会費 (生涯学習課)	文化財満足度	三重県文化財保護審議会の開催（年2回） 県指定候補文化財の調査。答申に基づき指定を行う。 文化財の保護活用にかかる基本指針の策定。	2,826	1,782	1,364	829
指定文化財管理費 (生涯学習課)	文化財保護管理満足度	指定文化財の管理状況や埋蔵文化財、天然記念物等の 現状を把握し、適切な保護措置を行う。	2,000	0	428	0
銃砲刀剣類等登録審査費（生涯学習課）	7銃砲刀剣類登録管理達成度 係州犬登録数増加度 り日本鶏登録数増加度	法や条例に基づく登録審査事務を行い、適切な管理を 促す。	1,078	26	1,605	0
文化財保護事業補助 金（生涯学習課）	文化財保護度	所有者又は管理者が行う国・県指定文化財及び埋蔵文 化財関係の保護事業に対して補助金を交付し適正な保 護活用を図る。	168,696	28,398	3,000	325
文化財保存対策費の 内、近代和風建築総 合調査（生涯学習課）	文化財調査達成度	次第に減少している県内の重要な近代和風建築につい て、緊急調査を実施し、その保存と活用のための基礎 資料とする。	3,000	3,000	723	723
伝統文化公開普及事 業費（生涯学習課）	民俗芸能大会成功度	地域に伝わる民俗芸能の継承と普及公開を図るため県 内の民俗芸能保存団体を各種芸能大会に出演させる。	800	0	428	0
熊野古道世界遺産登 録推進費（生涯学習 課）	世界遺産登録推進度	熊野古道世界遺産登録のため、和歌山・奈良県及び 関係市町村と連携して、調査・法令整備・活用方策 策定など登録推進事業を行う。	31,768	31,768	8,320	8,320